

(2) 普及上の重要な参考事項

極早生温州みかんの無加温栽培による熟期促進						
〔要約〕岩崎早生の無加温栽培で2月から被覆すると発芽期及び開花期が2週間ほど早まる。また、酸含量が1.0 g/100mℓ程度になるのは露地より約1週間ほど早まり熟期が促進される。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成5年度長崎県果樹試験場業務報告						

〔背景・ねらい〕

極早生温州みかんで減酸を早めて、熟期を促進させ、商品性の向上を図るために、無加温栽培について検討した。

〔成果の内容・特徴〕

- ①発芽期、開花期とも無加温栽培が露地より約2週間ほど早い。
- ②無加温栽培の糖度は露地よりも高く、酸含量は、9月下旬には1.0 g/100mℓ程度になり、露地より約1週間程度早い。
- ③果皮色は、無加温栽培で高い。
- ④無加温栽培の果径指数は、露地と変わらない。
- ⑤以上のことから、無加温栽培では、開花期が早まり、減酸が促進され、熟期が促進される。

〔成果の活用面・留意点〕

開花期の温度を25℃以下に抑えないと、腰高果の発生が懸念されるので開花期の温度管理には注意する。

[具体的データ]

表1 無加温栽培と露地栽培の発芽期，開花期（1993）

生育相	無加温栽培	露地栽培
発芽期	3月20日	4月 2日
開花期	4月22日	5月 7日

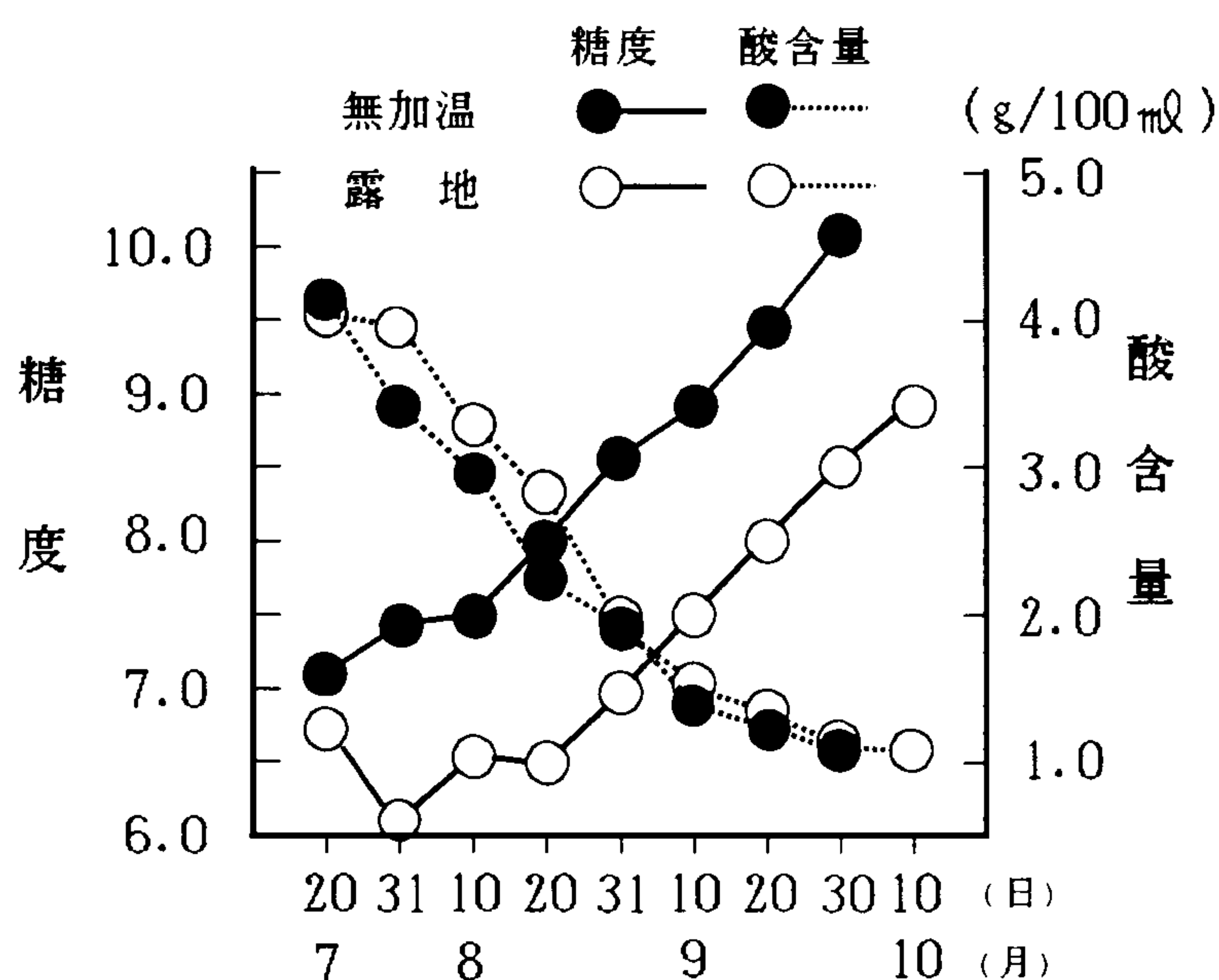


図1 無加温栽培と露地栽培の果実品質（1993）

表2 果実形質²

処 理	糖 度	酸含量 (g/100ml)	着色歩合	果皮色 (a/b値)	果肉色 (a/b値)	果径指数
無加温	10.1	1.07	4.3	1.2	18.6	130.4
露 地	8.5	1.17	3.8	-13.5	19.0	132.3

² 9月27日調査

[その他]

研究課題名 : 温州みかんの高品質果実生産技術の確立試験
 予算区分 : 県 単
 研究期間 : 平成4年～5年
 研究担当者 : 中里一郎, 岸野 功
 既発表論文等 : 平成5年度長崎県果樹試験場業務報告
 残された問題点 : 被覆時期や被覆資材を検討する必要がある。